作成:2005 年 6 月 1 日
改定:2007 年 6 月 1 日
改定:2009 年 6 月 1 日
改定:2013 年 2 月 1 日

製品安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名	VICTORYLINE
会社名	近藤石灰工業株式会社
住所	岐阜県大垣市赤坂町 3169 番地
電話番号	0584-71-1188
FAX 番号	0584-71-2185
緊急連絡先	0584-71-1188

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

健康に対する有害性	急性毒性(経口)	区分外
	皮膚腐食性/刺激性	区分 5
	目に対する重篤な損傷性/目刺劇性	区分 2A
環境に対する有害性	水生環境急性有毒性	区分外
	水生環境慢性有毒性	区分外
	危険有害性情報	皮膚刺激(軽度)、目刺激
	粉塵爆発の可能性	現段階での発生は確認されていない。

「記載がない危険有害性は分類対象外か分類できない」

注意書き　【予防策】

保護眼鏡、呼吸器用保護具、保護手袋を着用すること。
使用前に取扱説明書を入手すること。
すべての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。
必要に応じて個人用保護具を使用すること。
取扱い後はよく手を洗うこと。
粉塵を吸引しないこと。

【対応】

皮膚についた場合	多量の水と石鹸を洗うこと。 皮膚刺激が生じた場合、医師の診断/手当てを受けること。
目に入った場合	水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 眼の刺激が続く場合は、医師の診断、手当てを受けること。
吸引した場合	空気の新鮮な場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させる事。 気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること。

【保管】

直射日光を避け、吸湿防止の為、密閉して換気の良い屋内に保管する事。

【廃棄】

内容物や容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託処理すること。

3. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区分	単一製品(鉱物)
化学名又は一般名	炭酸カルシウム(Calcium carbonate)
別名	タンカル、重質炭酸カルシウム、石灰石 Lime、Lime stone、Calcite、Aragonite

化学名	含有量	化学式	官報公示整理番号	CAS№
炭酸カルシウム	95%以上	CaCO3	(1)-122	471-34-1

4. 応急処置

吸引した場合	新鮮な空気の場所へ移し、安静に努める。 鼻、口の中を水で洗浄しうがいをする。異常のある場合は医師の診断を受ける。 気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受ける。 多量の場合は、医師の診断を受ける。
皮膚に付着した場合	直ちに多量の水と石鹸で洗うこと。 洗浄後も痛みのあるときは医師の診断を受ける。
目に入った場合	眼球を傷つける恐れがある為、目を擦らないで、清浄な水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。直ちに医師の診断を受ける。
飲み込んだ場合	清浄な水でよく口の中を洗い、直ちに医師の診断を受ける。 多量の場合は、多量の水又は食塩水を飲ませ吐かせた後、医師の診断を受ける。

5. 火災時の措置

消化剤　　不燃物質であり、この製品自体は燃焼しない。
一般的な消火剤が使用可。
周辺火災の場合は、周辺火災に適した消火剤を使用する。

特定の消火方法　　一般的な火災時の消火方法による。
周辺火災の場合、可能な場合は容器を安全な場所に移す。
移動不可能な場合は、容器に注水して冷却する。
注水は飛散防止に配慮する。

消火を行う者の保護　　消火作業の際は必ず防火具、防煙具、耐熱具を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項　　処理作業の際には保護具（保護メガネ、防塵マスク、保護手袋、保護衣）を着用し、粉塵の吸引や、皮膚への付着を防止する。（P1 不活性粒子用のフィルター付マスク）

環境に対する注意事項　　飛散拡大の防止を図る。河川等に流入しないよう注意する。作業場、排水系から外部に流出させないように回収する。

除去方法　　粉塵が発生しないようにほうきや掃除機で掃き取り、空容器に回収する。

二次災害の防止策　　風雨等による再飛散の恐れのある場合はシート等によって覆う。廃棄の場合は産業廃棄物扱いとする。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策　　粉塵を立てないような容器、輸送手段、移送手段を用いることが望ましい。
保護具（保護メガネ、防塵マスク、保護手袋、保護衣）を着用する。

注意事項　　取扱いは換気のよい場所で行い、必要な場合は局所排気を行う。
破袋防止の為製品を衝撃、落下に注意する事。
荷崩れしないように製品の積み重ねは丁寧に行い、積み段の制限を守る。
吸湿させないようにパレットの上に置く等の措置を取る。
取扱後は、皮膚・顔面等の露出部分を石鹸でよく洗う。
作業衣はよく洗濯する。

保管

適切な保管条件　　高温多湿を避けて屋内保管庫に保管する。
容器は直射日光を避け、冷暗所に密閉して貯蔵する。
バラ荷の場合は水密タンク・サイロに貯蔵する。

安全な容器包装材料　　できるだけ透湿性のない材質。

8. 暴露防止及び保護措置

設備対策　取扱いについては、作業者が直接暴露されないように出来るだけ密閉された装置・機械または局所排気装置を使用する。
換気装置の能力は粉塵濃度を管理濃度以下にできるものでなければならない。
取扱現場の近くに洗眼及び身体洗浄用の設備を設ける。

管理濃度　設定されていない。

許容濃度

日本産業衛生学会(2009 年版)　設定されていない。

ACGIH(2008 年版)　TLV:10 ㎎/㎥ (TWA)
(アスベスト不含、結晶性シリカ 1%未満の微粒子)

保護具

呼吸器の保護具　防塵マスク

手の保護具　保護手袋(ケミカルグローブ)

目の保護具　保護メガネ(ゴーグル型)

皮膚及び身体の保護具　保護衣(作業着)保護面

9. 物理的及び化学的性質

物理的状態

形状　粉状

色　灰色～白色

臭い　無臭

物理的状態が変化する特定の温度/温度範囲

分解温度　825℃で分解して二酸化炭素を放出し、酸化カルシウムとなる

引火点　不燃性でありデータなし

発火点　不燃性でありデータなし

爆発特性　不燃性でありデータなし

密度　2.6～2.7g/㎝ 3

溶解性　水には実質的に不溶、炭酸ガスを含む水には微溶。
水への溶解度:0.0015%

10. 安定性及び反応性

安定性　通常の取り扱い条件(常温)では安定。

反応性　強酸と反応して、二酸化炭素を発生する。
酸・アルミニウム・アンモニア塩と反応する。

避けるべき条件　825℃に加熱すると分解して二酸化炭素を放出し、酸化カルシウムとなる。
高湿度、熱、直射日光。

危険有害な分解生成物　酸化カルシウム、二酸化炭素ガス

11. 有害性

急性毒性	経口　ラット　LD50　6,450mg/kgに基づき、区分外。
	経皮　データが無く分類できない。
	吸引　データが無く分類できない。
皮膚腐食性/刺激性	ラビット　500mg/kg　24H中程度(RTECS)区分5。
	長時間付着すると肌荒れを起こすことがある。
眼に対する重篤な損傷/刺激性	
	ラビット750μg/kg　24H重度(RTECS)区分2。
	目に入ると痛みを感じ粘膜を傷めることがある。
呼吸器感作性	データが無く分類できない。
生殖細胞変異原性	データなし。
発がん性	IARC、ACGIH、NPT、EPAに記述が無い事から、分類できない。
生殖毒性	データなし。
特定標的臓器/全身毒性	（単回暴露）　データなし。
特定標的臓器/全身毒性	（反復暴露）　データなし。
吸引性呼吸器有害性	データが無い為に分類できない。

12. 環境影響情報

残留性/分解性	データなし
水生環境急性有害性	生体に依存するイオン成分であり、水生生物への有害性は低い為、区分外。
水生環境慢性有害性	急性毒性、蓄積性は低く、且つ水生環境、生体内に幅広く存在するイオン成分であることから、区分外。

13. 廃棄上の注意

関連法規及び地方自治体の基準に従って廃棄する。
内容物や容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に産業廃棄物管理票(マニフェスト)を交付して委託処理すること。
管理型最終処分場で処分する。

14. 輸送上の注意

国際規制

国連分類	非該当
海洋汚染物質	非該当

国内規制

輸送特定の安全対策及び条件

容器の破損、吸湿が起きないように、乱暴な取り扱いを避け、荷崩れ防止を確実に行う。

15. 適用法令

化学物質管理促進法(PRTR 法)	非該当
毒物及び劇物取締法	非該当
労働安全衛生法	粉塵障害防止規制
船舶安全法	非該当
消防法	非該当
じん肺法	法第 2 条、施行規則第 2 条別表　粉塵作業
航空法	非該当
高圧ガス保安法	非該当
輸出貿易管理令	非該当

16. その他の情報

引用文献

1） 化学便覧　改訂 4 版(1993)
2） ケミカル DB WEB 検索サービス・日本ケミカルデータベース株式会社
3） 15107 の化学商品　化学工業日報(2007)
4） 国際化学物質安全性カード(ICSC)日本語版
5） 化学物質総合検索システム(製品評価技術基盤機構)

記載内容の取り扱い

記載内容は現時点で入手できた資料や情報に基づいて製作しておりますが、記載データや評価に関しては、いかなる保証もなすものではありません。また、注意事項は通常の取り扱いを対象としたものですので、特別な取り扱いをする場合には新たに用途・用法に適した安全対策を実施のうえ、お取扱い願います。